

サステナビリティポリシー

持続可能で、お客様、従業員の生活が豊かな社会を目指して。シヤチハタエンジニアリング株式会社では、従業員全員が、社会やステークホルダーの方々との繋がりにおいて、未来に向けた価値あるサービスを生み出すための行動を実践できるようサステナビリティポリシーを定めています。

(法令順守)

わたしたちは、国内・海外の関係法令、国際ルールなどを順守し、世界中の文化的・歴史的背景に対して、理解、尊重するとともに、倫理観をもって、公正で健全、透明性のある事業運営に努めます。

競争法、贈収賄規制法、輸出規制法、知的財産保護法、個人情報を含むデータ保護法などの法令違反行為に企業、社員とも関与いたしません。

(社会の持続的発展への貢献)

環境の変化を積極的に捉え、お客様の生活の豊かさを第一に考えた技術革新や新しい生産システムの構築に努めます。

環境保全に積極的に取り組み、エネルギー資源を有効に活用する、環境負荷を最大限に抑えた持続可能性な生産、開発体制を構築していきます。

(責任ある調達活動)

シヤチハタグループ内はもとより、関係企業様とのサプライチェーンにおいても、オープンでフェア、自由で適正な取引に努めます。取引先の企業様とも対等な関係性を築き、信頼関係を醸成し、お互いの発展を目指していきます。

(人権の尊重)

事業活動に関係するすべての人々の人権を尊重し、強制労働・児童労働など人権を侵害する労働、またはそれに準ずる行為は行いません。

(労働環境・企業風土づくり)

労働時間、休日、賃金など各国・地域の法令を順守するとともに、健康で安全に職務をおこなえる、働きやすい職場環境の維持・向上に努めます。

社員全員が業務を通じて成長できる環境づくりにも積極的に取り組み、多様な人材が、その個性を發揮できるよう、性別・年齢・国籍・障がいの有無、に左右されない職場環境を維持します。

多様性を重んじ、いかなる場合も、社員が充実した職場時間を過ごせるよう、経営層一丸となって企業風土づくりに努めていきます。

(情報開示)

適時かつ適正に、企業の情報を開示するとともに、オープンかつ公正であることを遵守することで、経営の透明性を高め、ステークホルダーとの信頼関係の維持、発展に努めます。

具体的な活動事例

■製造工程で発生するランナー材の再利用

シヤチハタ製品の製造ラインでは、必要最小限の材料を効率的に使用していますが、その工程上で、どうしても微量のプラスチックランナー材が発生するケースがあります。わたしたちは、そのようなランナー材も、貴重な資源と捉え、廃棄せず、新しい商品の部品として再活用しています。

■大規模な太陽光発電システムの導入による自然エネルギーの有効活用

シヤチハタエンジニアリング株式会社の屋上に、大規模な太陽光発電設備を設置。これにより、昼夜問わず、工場内の電力を極力、自然エネルギーに置き換えた運用をおこなっています。脱炭素に向けたエネルギー活用を今後も推進していきます